

2011年日本平和大会 in 沖縄開催要項（第1次案）

2011年7月27日
2011年日本平和大会実行委員会

1、基本テーマ

「沖縄から全国へ 広げよう平和の流れ
—— 米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本を」

☆ 国際シンポジウムの基本テーマ

「軍事基地のない、比較・平和のアジア・太平洋をめざして —— 沖縄からの発信」
※グアム、フィリピンなどの友人らが検討しているアジア太平洋会議との共催を追求する

2、主な日程

■ 11月24日（木）

14:00～18:00

国際シンポジウム 場所/沖縄船員会館

18:30～20:00

海外代表歓迎レセプション 場所/沖縄青年会館

■ 11月25日（金）

9:30～12:00 (or 14:00)

国際シンポジウム 場所/沖縄船員会館

18:30～20:45

開会集会 場所/那覇市民会館

■ 11月26日（土）

9:30～16:00（コースによって出発の早まるもの有り）

分科会、シンポジウム 場所/那覇市内

動く分科会 コース/南部戦跡、中部基地、辺野古・高江連帯の3コース

夜（時間は地元と相談の上決める）

青年集会 場所/JA真和志ホール or 船員会館

（※その他、階層・団体別など各種交流会の時間に活用する）

■ 11月27日（日）

10:00～12:00

閉会集会＝新基地建設・オスプレイ配備反対、普天間基地の無条件撤去求める那覇行動
（スローガン、中心課題はその時の情勢によって検討する）

会場：那覇市新都心・新都心広場（予定）

—— 集会後、市内パレードで、オスプレイ配備反対、普天間基地撤去の市民との連帯行動

3、シンポジウム、分科会

■シンポジウム案(26日)9:30~16:00 (※タイトルは仮案 担当団体に起案する)

- ① シンポ1 米軍基地のない平和で豊かな沖縄をどうつくるか?—自治体との交流
- ② シンポ2 非核・平和のアジア太平洋をどうつくるか?
—アジア・太平洋の仲間たちとの交流

■分科会案(26日)9:30~16:00 (※タイトルは仮案 担当団体に起案する)

- ① 米軍基地再編強化反対の運動の交流
- ② 新防衛大綱による自衛隊増強に反対し、憲法9条守る運動の交流
- ③ いまこそ国民の命守る政治を 軍事費削って被災者へ、消費税増税・TPP反対
- ④ 原発も原子力空母も核兵器もゼロへ
- ⑤ 侵略戦争美化、集団自決の真実歪める教科書に反対し、歴史の真実を伝えるために
- ⑥ 軍需産業の実態、武器輸出3原則じゅうりんを許さないために
- ⑦ 青年分科会：オキナワから安保と日本の未来を考える

4、動く分科会

*初めての参加者を優先する

- ① 中部基地調査・普天間、嘉手納基地を中心に(住民との交流も)
9:00~16:00 定員/90人(バス2台)
- ② 辺野古、高江連帯行動 8:00~17:00 定員/90人
- ③ 戦跡めぐり 9:00~16:00 定員/90人

5、参加費

●国際シンポジウム

シンポジウム 6,000円(1日3,000円)、レセプション 5,000円、(通し参加 10,000円)

●参加費(中央実行委員会納入分。沖縄県を除く)

全国の参加費：一般 11,000円、学生・被爆者・戦傷者・障害者 5,000円、高校生 3,000円

●基地調査行動(バス、昼食、資料代を含む)

参加費：4,000円

沖縄から全国へ
ひろげよう！ 平和の流れ
米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本を

2011年

11/24~27

日本平和大会in沖縄へ あなたも



東日本大震災と福島第一原発事故は、日本の進路を根本から問いかけています。命と人権を大切に、日本国憲法の精神に立った政治の実現がいま求められている一方で、被災者が苦しんでいるなかでも米軍に巨額の「思いやり予算」を注いで米軍基地を強化する、また自衛隊を増強して海外派兵をすすめる、憲法をじゅうりんとする——こんな「日米同盟」絶対の政治でいいのかと、沖縄のたたかいは問いかけています。

沖縄と全国の平和の運動を結び、米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本をめざすのが、2011年日本平和大会in沖縄です。沖縄の基地や戦跡に触れ、平和と人権、自然を守りたたく人々と交流し、日本とアジアの平和の実現の道を学び考えあいましょう。



写真はすべて2010年日本平和大会in佐世保

国際シンポジウム (別途要参加費)

「軍事基地のない、非核・平和のアジア
・太平洋をめざして～沖縄からの発信」
11月24日(木)14時～25日(金)午後
沖縄船員会館



全体企画

開会集会

11月25日(金)18:30～20:45 那覇市民会館
～全国とアジア太平洋の仲間が大交流

シンポジウム、分科会

11月26日(土)9:30～16:00 那覇市内各会場
～9つの多彩なテーマに分かれて学習、交流

動く分科会

11月26日(土)9:30～16:00
南部戦跡コース、中部基地コース、辺野古・高江連帯コース
～その目で見て、体感、じっくり学習 (バス代など要参加費)

青年集会

11月26日(土)夜 JA真和志ホール

閉会集会

「新基地建設・オスプレイ配備反対、
普天間基地の無条件撤去求める那覇行動」(仮)
11月27日(日)10:00～12:00 那覇市新都心広場(予定)
～集会後、市民にも参加を呼びかけ、市内をパレード!

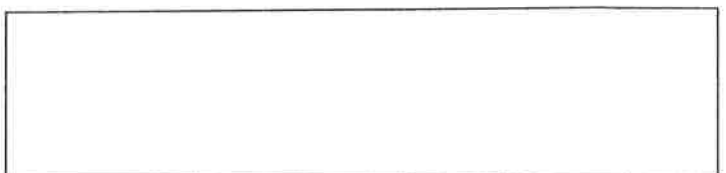
詳しい参加要綱・参加費については、
各都道府県実行委員会にお問い合わせください

主催 2011年日本平和大会実行委員会

<http://www.heiwataikai.info>

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 日本平和委員会気付

Tel 03-345-6377 Fax 03-3451-6277





東村高江で暮らす普さん（撮影＝森住卓）

"もう、基地はいらない" "米軍普天間基地は撤去を"

県民ぐるみのたたかいが広がる沖縄で 平和の願いをもちより学び交流しよう

豊かな森守る高江住民のたたかいも

沖縄は戦後65年間米軍基地に苦しめられ、今も本島の約2割が基地に占められています。しかし昨年1月、名護市で「基地はどこにもつくらせない」立場の稲嶺進市長が、11月の宜野湾市でも米軍普天間基地撤去を求める安里猛市長が当選。「米軍普天間基地撤去、基地の県内移設反対」は県民の総意となって、日米政府に立ちはだかっています。

また、北部の東村高江の住民は、豊かな「やんばるの森」を破壊する米軍ヘリパッド建設に反対し、4年以上の座り込みをくりひろげています。与那国島や下地島に新たな自衛隊基地をつくる計画にも、反対運動が広がっています。

日本軍が住民に「集団自決」を強要した沖縄戦の真実を明らかにすることも、県民の願いです。

原子力空母撤去など、全国の運動も

全国でも、「軍事費削減で被災地救援・復興に」の要求や、原発事故でその危険が鮮明になった横須賀の原子力空母母港の撤回、空母艦載機の移駐に反対する山口県・岩国、鹿児島県・馬毛島の住民のたたかいなど、基地強化に反対し、憲法を守る運動が広がっています。

安保60年——軍事同盟なくし憲法輝く日本を

今年の日米安保条約が結ばれて60年目です。米軍基地や憲法9条を破壊する動き、そして、TPP（環太平洋経済連携協定）や原発推進などアメリカ力強いなりの経済政策の根っこにも、安保条約があります。沖縄と全国、そしてアジア太平洋の仲間たちと学び交流し、米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く平和な日本をつくる展望を開いていきましょう。ぜひ、あなたもご参加ください！

2011年日本平和大会が開かれる沖縄ではいま、「もう米軍基地はいらない」「沖縄を戦争の拠点から平和の拠点へ」の流れが広がっています。この沖縄での平和大会にあなたも参加し、学び、交流しましょう。

多様なテーマのシンポ・分科会

11月26日(土) 9:30～16:00

シンポジウム (仮称)

- ① シンポ1 米軍基地のない平和で豊かな沖縄をどうつくるか？
——自治体との交流
- ② シンポ2 非核・平和のアジア太平洋をどうつくるか？
——アジア・太平洋の仲間たちとの交流

分科会 (仮称)

- ① 米軍基地再編強化反対の運動の交流
- ② 新防衛大綱による自衛隊増強に反対し、憲法9条を守る運動の交流
- ③ いまこそ国民の命を守る政治を
軍事費削減で被災者へ、消費税増税・TPP反対
- ④ 原発も原子力空母も核兵器もゼロへ
- ⑤ 侵略戦争美化、集団自決の真実を歪める教科書に反対し、歴史の真実を伝えるために
- ⑥ 軍需産業の実態、武器輸出3原則じゅうりんを許さないために
- ⑦ 青年分科会：オキナワから安保と日本の未来を考える

動く分科会 (時間が異なります)

- ① 中部基地調査 ② 辺野古、高江連帯行動 ③ 南部戦跡めぐり



2011年7月19日

各加盟団体様
各都道府県実行委員会様

安保破棄中央実行委員会
事務局長 東森英男

沖縄・先島への自衛隊配備に反対する連帯行動への参加の呼びかけ

昨年12月17日に政府が発表した「新防衛大綱」で打ち出された「南西諸島への自衛隊配備強化」の方針にもとづいて、与那国島への自衛隊配備、宮古島または石垣島への自衛隊配備が検討されるとともに、宮古島市の下地島を「国際防災拠点」にするという名目での軍事基地化がねらわれています。

これら先島諸島への自衛隊配備に対して現地の住民の中から、「軍事緊張を高める自衛隊配備反対」との運動が広がっています。

こうした情勢をふまえて、沖縄県統一連は、先島諸島への連帯行動にとりくむことを決めました。

安保破棄中央実行委員会は、沖縄県統一連のこのとりくみに協賛し、本土からも代表を派遣することとします。

各団体と都道府県実行委員会の積極的対応を呼びかけます。

記

1. 趣旨 日米両政府による離島の軍事拠点化を許さず、憲法に基づき新防衛大綱の廃止を沖縄から訴える
2. 主催 沖縄県統一連 協賛 安保破棄中央実行委員会
3. 期間 9月2日(金)～4日(日)
4. 内容 「防衛大綱と自衛隊配備」をめぐる学習と交流、現地で運動している人々との交流、および軍事化がねらわれている下地島の現地調査(宮古島と石垣島それぞれで100～150人規模の学習交流集会を組織し、それに参加する)
5. 準備のとりくみ
沖縄県統一連・山田事務局長が先島を訪問し、現地の民商、国公、新婦人、共産党などのみなさんと、企画や、島民への宣伝などについて協議します。
6. 日程概要
2日 14時までに那覇空港集合 宮古島へ 夜、宮古島で学習交流集会
3日 午前、下地島視察 午後、石垣島へ移動 夕方、石垣島で学習交流集会
4日 フリータイムの後、14時30分那覇空港着 那覇空港から帰路へ
6. 参加目標
全国から10人。沖縄本島から10人～15人をめざす
7. 費用 ※那覇空港発着 5万円 那覇－宮古島－石垣島－那覇 (航空運賃、ホテル・朝食、下地島視察バス代・フェリー代)
※羽田空港発着 9万3千円(那覇発着を含むパック料金)
8. 申込み
参加を希望される方は、安保破棄中央実行委員会に詳細資料と申し込み用紙を請求し、8月16日までに申し込んでください。

以上

「全国5000か所 安保学習」実施・計画集計表

2011年7月8日(現在)

	開催日	学習会名	主催団体	会場	参加人数	内容
中央	5月21日	「全国5000か所 安保学習」西日本学習集	安保中央	大阪国労会館	189	小泉親司、吉井英勝講演、交流
	6月19日	「全国5000か所 安保学習」東日本学習集	安保中央	全国教育文化会館	93	小泉親司、萩原伸次郎講演、交流
北海道	11月12、13日	基地闘争交流会	安保北海道			
栃木	6月23日	「安保と沖縄—いまいのちとくらしを守るために何が求められているか」	安保栃木県	宇都宮市文化会館	31	講演 杉浦公昭
	8月27日	DVD「怒りの安保」視聴と講演	安保栃木県		40～50	60年安保から学ぶ
東京	6月3日	総会の前段で学習会	安保東京	東京労働会館	30	講師 内藤功
神奈川	7月1日	「原発安全神話」「国策」から、米国いいなりの政治から 福島原発事故を検証し、告発する集い	安保廃棄神奈川	横浜開港記念会館	150	講演 伊東達也、小泉親司
富山	7月18日		富山高教組			講師 東森英男
	7月19日		安保富山県			講師 東森英男
滋賀	6月28日	1からわかる安保	安保滋賀県	教文会館	6	ブックレットをテキスト、講師養成講座として開催
兵庫	6月21日	全国5000か所 学習・兵庫県学習会	安保兵庫県	神戸総合福祉センター	40	東森英男講演
岡山	6月14日	「新防衛大綱っていったい何？」学習と討論	安保岡山県	岡山県労会議	6	DVD鑑賞と意見交換
	6月23日	「安保のイロハから新防衛大綱の危険性まで」	安保岡山県	勤労者福祉センター	15	講師 中尾元重 ブックレット学習
愛媛	10月8日	安保・平和学習会	安保愛媛県	県美術館講堂	100	講師 伊波洋一
福岡	3月11日	TPPとは 壊国への道！	安保福岡県	福岡民医連	23	パナーポイントによる安保とTPPについて
	8月ごろ	準備中 原発問題で小集会、学習中	民医連 新婦人	県内各地 県内各地		県内50回をめざす 安保とどう結びつけるか
全教	8月27日	「安保条約と私たちのくらし」	全教女性部			講師 長尾ゆり
婦団連	8月12日	戦争はごめん 女性のつどい	婦団連	全国教育文化会館	100	小泉親司 講演